

「ウッドデザイン賞 2022」受賞 株式会社オーシカ大阪事業所 第二倉庫

この度、ウッドデザイン賞 2022【ソーシャルデザイン部門・建築空間分野】において、
「株式会社オーシカ大阪事業所 第二倉庫」が受賞しました。

ウッドデザイン賞とは

ウッドデザイン賞（主催：一般社団法人日本ウッドデザイン協会）は、木の良さや価値を再発見させる建築・空間や製品、活動や仕組み、研究や技術から特に優れたものを消費者視点で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。

本賞を通じて、木に関する多様な知見やアイデア・ネットワークを持つ方々が集い、新たな時代の価値づくりに参画していただくことを最大の目的としております。

ウッドデザイン賞の公式 HP はこちら → <https://www.wooddesign.jp/>

受賞した建築物の概要

「株式会社オーシカ大阪事業所 第二倉庫」は桝組壁工法を主構造とした平屋建の木造倉庫です。間口 32m、奥行き 20m の空間を無柱とするため、GIR 接合を用いた大断面 LVL 梁と I 型ジョイストにより屋根を構成しています。

GIR で接いだ LVL は 20m スパンを跳ばず梁の他、建物正面に設けた 14m の開口上部のまぐさとしても使用しています。

また国産材を有効活用するべく縦柵材にスギ LVL、壁と野地の面材として針葉樹合板を採用しました。

木造でも剛接合を可能とする GIR 接合はスパンを必要とする単純梁での採用の他にも、強度が必要な大規模木造建築物や耐火木造建築物の接合部で幅広く採用されています。

基本的な構造は桝組壁工法とし、スパンが必要な部分のみ GIR 接合の LVL 梁を採用することで、コストの低減と工期の短縮を図ると同時に、鉄骨造から木造への転換を視野に入れていきます。

「株式会社オーシカ大阪事業所 第二倉庫」の紹介動画はこちら → <https://bit.ly/3EdmpEf>

